



## 第57回社会を明るくする運動

# 射水更生保護

発行・編集

射水保護司会  
会長 棚元理一  
TEL 0766-52-2341  
〒939-0274 射水市小島700-1  
大島社会福祉センター内

## 第五十七回「社会を明るくする運動」

### 作品コンテスト

**優秀賞二十九名 表彰**

“社会を明るくする運動”強調月間の事業として、射水市内の小・中・高の児童・生徒を対象に「作文・標語・ポスター」の作品を募集し、コンテストを実施した。

学校との連携を深めるため、学校部会が中心となり市内二十六の学校に応募要領、趣旨の説明を行い、募集の協力を要請した。

作品応募数は「作文の部、九百八十七点」「ポスターの部、三百七十三点」「標語の部、千九十三点」総数二千四百五十三点と前年度以上に多数の応募がありました。

各作品部門の内、学校推せんの作品は保護司会の審査員会で審査し、八月二日にポスター、標語の部、八月八日は作文の部の審査が行われた。

各部門の優秀作品は、射水市新湊分庁舎、小杉分庁舎の正面ロビーにて巡回展示しました。

作品コンテストの表彰式は十月六日小杉文化ホール（ラポール）まどかホールで行われ、作文の部九名、ポスターの部九名、標語の部十一名、と三部門

の優秀作品に輝いた二十九名に実施委員長の分家静男市長から表彰状が授与されました。

作文の部で塙原小学校五年生 北野光祐君、新湊南部中学校三年生 津澤理子さんの作品が射水市実施委員会より県実施委員会に推せんされました。

富山県実施委員会では、更に県内各市町村、小学生の部十五名、中学生の部十二名の応募作品の中で審査が行われた。結果、射水市推せんの二名の作品とも最優秀賞に入賞し、全国中央実施委員会に推せんされました。

(二二頁四段目に続く)

この機関紙は一部共同募金の配分金を受けて作成しました。



## 年頭のご挨拶

射水保護司会 会長 棚元理一

明けましておめでとうございます。

御家族お揃いで新  
春を迎えたこととお慶び申し上げます。昨年中は

して「犯罪のない明るい社会づくり」に貢献できるよう、皆様方とともに微力を尽したいと思っております。昨年は、市長さんの力添えで念願のBBS会が新スタートしました。今後若い人達がBBS活動を通して更生保護事業を理解し、将来の保護司活動に貢献してくれるものと期待しております。

『社会を明るくする運動』では、体験発表部門で県最優秀賞、作文コンテスト部門では二名が県代表として中央へ推薦されるなど、前年に引き続き晴らしい成果を挙げました。市や各学校のご支援に御礼申し上げます。

また、保護司会統合時からの懸案事項中、更生保護事業協会の統合が行われ、更生保護女性会も統合に向かっての協議が進められました。新事業・協力雇用主との懇談会もスタートしました。

以上皆様方のご尽力により、四更生保護関連組織・更生保護女性会、協力

新役員・会員

|      |       |    |      |
|------|-------|----|------|
| 会長   | 石灰一友  | 会員 | 寺井雄三 |
| 副会長  | 石黒信一郎 | "  | 牧山泰子 |
| "    | 大澤覚円  | "  | 堀 浩昭 |
| 事務局長 | 小神善行  | "  | 大田康幸 |
| 理事   | 豆川公彦  | "  | 渡辺宏平 |
| "    | 藤井康憲  | "  | 棚田宏典 |
| 監事   | 長徳一   | "  | 草野雅信 |
| "    | 棚元理人  | "  | 横山貴一 |
| 事務担当 | 堀田信之  | "  | 畠中秀元 |
| 会員   | 土合真祐  | "  | 田中良仁 |



射水地区BBS会 設立される  
会長に石灰一友さん選出!!

射水地区BBS会の設立総会が八月八日、射水市小杉社会福祉会館で開催され、会長に石灰一友さんが選出されました。

当田は、保護司会の設立準備委員会（竹林真昭委員長）から設立までの経過報告が行われた。分家射水市長、棚元保護司会長からの励ましの挨拶、加藤富山保護觀察所長の祝辞や青少年育成射水市民会議他、各団体多数の来賓紹介や祝電披露がされた。

十九年度収支予算の件、十九年度事業計画の件が承認され、新役員とともに射水地区BBS会が設立された。

雇用主との懇談会、更生保護事業協会、BBS会の全てが新しい体制を整えられました。

これから保護司活動は、更生保護署連組織との連携によって所期の目的が達成されるものと思います。

今年も、お互に健康に留意しながら頑張つてましょう。

優秀賞授与者は次の皆さんです。  
▽作文の部

▽作文の部

四

▽ボスターの部

塚原村森小五年北野優光草帆喜芭  
下歌の森小五年藤寺田尻陽草芭  
大作門小五年野川吉田口はる草  
射道湊小六年藤野島田尻陽草芭  
新湊北中中二年前田田口はる草  
湊南部中三年津山内理まりえ

▽ボスターの部

三

## BBS会長就任にあたり

BBS会長 石灰一友



今年、BBS会の設立よりBBS会の会長を受けて活動を始めましたが、自分自身まだ何をすれば良いのか何ができるのか暗中模索の中です。

若いメンバー二十名によりスタートいたしましたが、まだまだメンバー間のコミュニケーションを取るのに一苦労している実態です。その中でいろいろ

ろな方の協力をいただき他の地域のBBS会活動も少しずつ分ってきましたので、来年度は本格的にBBS会の活動を行いたいと思っています。本格的な活動として年末の十二月十日に富山県BBS連盟のお力を借りて、メンバーにBBS講座を開催させていただきました。

まずは、メンバーにBBS活動を十分に理解していただき、BBS活動の主旨を理解して平成二十年度の活動をメンバー一丸となって行っていきたいと思います。まだまだ未熟な会ですが皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



## BBS講座開催

十二月十日午後七時三十分より、市小杉文化ホール「ラボール」研修室にて、主催射水地区BBS会、共催富山県BBS連盟、後援富山保護観察所・射水保護司会・射水市更生保護女性会による、BBS講座が開かれた。

石灰会長より初めての活動であり、今後の取り組み方等、活動学習についての挨拶がありました。

富山県BBS連盟 西田会長より激励の挨拶の後、実践講座に入った。全員でビデオ上映「二つの道」を見た後、三班に分かれ、班別検討会を行い、ビデオ内容について、班別発表し、「非行少年との接し方、対応の方法等熱心

に話し合い最後に棚元保護司会長の講評を聞き、今後の活躍が期待される講座되었습니다。



第一回協力雇用主と射水保護司会との懇談会が十一月二十七日午前十時三十分より射水市大門総合会館で開催され、協力雇用主二十三社、富山保護観察所・射水保護司会・射水市更生保護女性会による、BBS講座が開かれた。

平成十八年に射水保護司会が発足後、協力組織部会が中心となり、協力雇用主名簿への登録準備に入り、企業主の理解と協力を得て開催することができた。

犯罪や非行をした対象者が社会復帰を遂げるには就労して生活基盤を確立する事が最も重要な要因となります。

企業、雇用主のご支援をいただき、第一回目の懇談会を開催いたしました。



体験事例では「保護観察対象者の雇用について」協力雇用主の立場で山本修氏、保護司の立場で炭谷幸子氏から過去の事例報告があり、出席者全員が今後の取り組み、就労支援について話し合い協力企業が更に増え、対象者が一人でも多く健全な社会の一員とする事が必要であると再認識をして第一回の懇談会が終了した。

## 第一回協力雇用主・射水保護司会懇談会開催

# 特集！今・更生保護を考える

—保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主に聞く—

射水保護司会発足以来、今年度は射水地区BBS会の設立、協力雇用主名簿の登録さらには更生保護女性会の協力など更生保護を取り巻く環境が整ってきました。しかし現実は従来では考えられないような事件が後を絶たず、また外国籍の人の増加など複雑化する社会、更生保護に対する考え方も様々です。

「更生保護」その言葉の裏には「罪を憎んで人を憎まず」と言った意味合いや、「また不幸にして罪を犯した人達」と言った表現も致します。

特集として「射水更生保護」紙上意見交換を企画し、それぞれの立場でどのように考えられるか、左記二つの質問を中心に回答をお願いしました。

問一、罪を犯した人に対するどのようにお考えですか。また犯罪の被害者へお記憶するようになりますと併せてお答え下さい。

問一  
保護司は大変な仕事と語るイメージで、一般的なボランティアとは一線を画した面があると思われているようです。そのため新たな保護司の選任が困難になるつゝある今日、どのようにすれば良いと思われますか。

※その他（お気づきの点、自由にお書き下さい。）

回答者

|    |            |    |              |            |            |
|----|------------|----|--------------|------------|------------|
| 山本 | 石灰         | 森  | 新中           | 谷口         | 炭谷         |
| 修  | 一友         | 節子 | 孝子           | 繁          | 幸子         |
|    | 射水地区BBS会会長 |    | 新湊更生保護女性会会長  | 射水保護司会・保護司 | 射水保護司会・保護司 |
|    |            |    | 射水市更生保護女性会会長 |            |            |



炭谷幸子さん

一・人は皆、出生した時、純粹無垢な一人の人間として、家族の慈愛を一身に受け、育てられたはずですが…。年を重ねて行くうち、どう間違ったか道をしてしまった。

それには相当の時間が必要でしょう。  
しかし、時は流れている。お互に生き  
かされて生きてゆく事に感謝していき  
たい。

二・保護司の仕事は苦労も多いが喜び  
もあります。保護司を拝命した時、罪  
を犯した人を誘導して行くと言う事は、  
その人の人生をも左右する大切な仕事  
であると思いました。

何れにせよ罪を犯した人は更生して  
今後の人生を誠意をもって太陽の下を  
堂々と歩いていくよう努力してほし  
い。

私自身、対象者と一対一で話して見るが、どの人も皆、善人でした。余りにも正直すぎたのかな?と思つて見ると憎めない。又この人達の生活してきたり背景に何があつたのかなと思つたりして見る。人によつては孤独で寂しかつたり、自分の居場所がなかつたりしたのではないか。一体、誰がそうした環境を作つたのか。言うまでもない親であり家庭ではないでしょうか。

このような過つた考えの人達によつて、被害者となつた人は本当にお氣の毒でやるせない気持ちで一杯、どう対応して行けば良いものか名案がありま

しかし、再び罪を犯させないためにも、保護司が身辺を見守って犯罪のない明るい社会を作つていただきたいと思います。犯罪被害者への配慮については、罪を犯した人が被害者に對して謝罪に行つてよいかが、慎重に考えなければならない問題であると考えています。

A black and white portrait of Tokuo Yamaguchi, a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, a white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

※大きな躬水保護議会となり  
から目的を同じにもつ人達同士集う事  
は非常に楽しく、何時も新しい発見の  
連続です。今後許される時間、皆様と  
の出会いの中から色々学んで行きたい。  
それが私の財産となります。

浅学菲才な私、務まるかなと思いつつ私なりに誠心誠意務めようと真正面から当たってきました。

## 射水更生保護

いきたいと思います。

二・保護司活動の研修や会議等は、常に平日の日中に行われています。これでは、現役勤労者には、勤務時間の関係で出席はできません。現役勤労者が出席しやすいように、平日の夜や休日（日曜日）に研修や会議等を設定してもらえば、現役勤労者からの人材発掘もやりやすくなると思います。



新中孝子さん

- 一・罪は罪として犯してしまったのだから、罰を受けるべきである。

一声かけられるような、何でも相談できるような地域環境が必要と思う。勿論、被害者への配慮は必要ですが、全面的に被害者に非がないと言い切れない事例もあると思う。

二・そんな大変な仕事でしょうか。保護司自身がそんな気持ちでボランティアをしていると絶対によくならないと思っています。

保護司であろうが、なかろうが犯罪のない住みよい地域づくりに、住んで

いる、住まさせていただいている我々みんなで、協力していく事が大切だと思います。



森節子さん

- 一・物が豊かになり、地域の人間関係や他人への無関心・家庭の中での孤立など

激しい社会変化の中で居場所を失った青少年の犯罪や非行は彼らだけを責めることはできない。

地域社会の中で更生し、生活していくことが第一だが善惡の判断、人間としてやってはいけない事、困難に耐える精神力を養う事など厳しく優しく導く周囲の人々の援助が必要と思う。

二・更生保護とはなんだろう。保護司、更女会BBS会など更生保護ボランティアの活動は地域の人々にほとんど見えていない。

地域の方々に理解してもらうために、PRも必要だが、地域でいろいろな活動に積極的に参加し、多くの人々と交流することが必要だ。

その中で、ボランティア活動に理解ある人や特技を持っている人、そして第一に信頼できる人を見出し、日頃か

らお願いできるように心がけることが大切と思う。



石灰一友さん

- 一・現状、罪を犯した人は

罪を犯さざるを得ない状況になつて

罪を犯さざるを得ない状況になつての犯罪より快樂的な自己中心的な犯罪が多い現代、罪を犯した人が真の意味で心の更生が出来ているのか疑問に感じます。

又、情報社会が進みいろいろな情報が手軽に得れる中で、犯罪被害者へ情報保護、心のケアといった部分での社会全体のより一層の対応が必要だと思われます。

文で「武士道」という本を著述されました。今、この「武士道」が静かなブームを起こしている。このような時代にこそ、他者を思いやる心「仁」と正義を貫く心「義」等、日本人の文化遺産ともいべき「武士道の精神」を再評価すべきであると思つております。



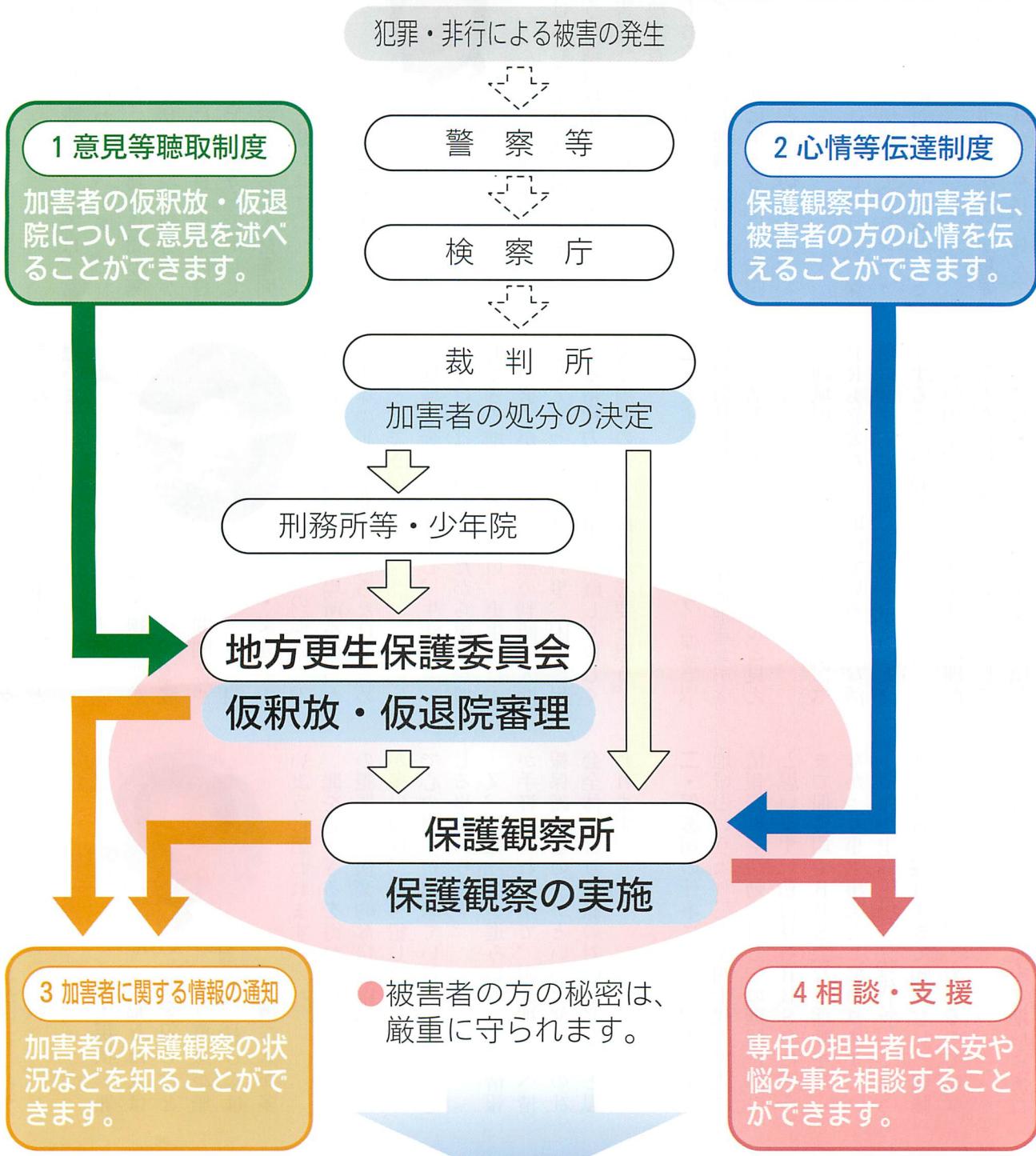
山本修さん

した情報発信、提供する事を模索する必要があると思います。

- 武士道の精神

明治三十二年に五千円札の顔となつておられる新渡戸稟造氏が英

## 更生保護における犯罪被害者等の方々のための新しい制度



### 1 意見等聴取制度

- ◎地方更生保護委員会が行う加害者の仮釈放・仮退院の審理において、意見等を述べることができます。
- ◎ご希望がある場合は、申出の手続きが必要です。申出ができる方は、(1) 仮釈放・仮退院の審理の対象となっている加害者の犯罪等により被害を受けた方。(2) 被害を受けた方の法定代理人。(3) 被害を受けた方が亡くなった場合又はその心身に重大な故障（病気やけがなど）がある場合におけるその配偶者、直系親族又は兄弟姉妹です。

### 2 心情等伝達制度

- ◎被害に関する心情等をお聞きし、これを保護観察中の加害者に伝えます。
- ◎ご希望がある場合は、申出の手続きが必要です。申出ができる方は、(1) 加害者が保護観察に付される理由となった犯罪等により被害を受けた方。(2) 被害を受けた方の法定代理人。(3) 被害を受けた方が亡くなった場合又はその心身に重大な故障（病気やけがなど）がある場合におけるその配偶者、直系親族又は兄弟姉妹です。

### 3 加害者に関する情報の通知

- ◎加害者の保護観察の状況等に関する情報を、希望される被害者の方やご遺族等に通知します。
- ◎ご希望がある場合は、申出の手続きが必要です。申出先等については、電話等でお問い合わせください。
- ◎保護観察所の被害者専任の担当者がご相談に応じます。
- ◎被害者の方やご遺族等のための制度や手続等に関する情報を提供します。また、ご相談に応じて関係機関・団体等の紹介等をします。
- ◎ご希望がある場合は、電話等でお問い合わせください。

### 4 相談・支援

## 新“射水市更生保護事業協会発足する！”

平成十九年九月二十六日、射水市新湊交流会館において新湊更生保護事業協会の総会が開催され、新湊更生保護事業協会を廃止し、改めて射水市更生保護事業協会として発足をした。射水市分家市長の挨拶で始まり、議案審議に入った。

- 一、平成十八年度事業報告及び決算報告
- 二、監査報告
- 三、射水市更生保護事業協会、会則について
- 四、会則施行に伴う役員補充について
- 五、平成十九年度事業計画（案）収支予算書（案）について審議に入り、原案通り承認され、“新”射水市更生保護事業協会として発足しました。



| (新)射水市更生保護事業協会役員名 |  |
|-------------------|--|
| 会長                | 分家 静男射水市長  |
|                   | 奥野 忠正射水商工会議所会頭   |
|                   | 荒木 菊男名誉保護司   |
|                   | 棚元 理一射水保護司会長   |
|                   | 岩口 和義保護司会  |
| 副会長               | 日本高周波鋼業株富山製造所<br>江 守   |
| 理事<br>(企業団体会員)    | アイシン軽金属(株)<br>新湊かまぼこ   |
|                   | 太陽興産   |
| 理事<br>(個人会員)      | 朝木 唯明<br>尾山 茂<br>石黒 善昭<br>北村 外雄<br>真岸 勝彦<br>宮垣 義雄<br>竹林 真昭<br>米澤 治夫<br>御後 一夫 |
| 監事                | 石丸 誓慧  |
| 〃                 | 前野 昭次  |
| 事務局長              | 石黒 善昭  |
| 事務担当              | 高松 徹保護司  |

十一月五日富山市の県民会館で薬物乱用防止指導員大会が開かれました。

参加者は薬物乱用防止に向けて、啓発活動を推進することが確認された。大会に先立ち功労者に感謝状が贈呈され、射水保護司会より次の方が感謝状を受賞されました。

### ◎厚生労働大臣感謝状

米澤 治夫氏

岩口 和義氏

## 回想

昨年暮に保護司を定年退任いたしました。

十六年間の私の保護司活動を顧み、忸怩たる思いが過りながらも感無量のものがあります。とりわけ五市町村合併に伴う旧射水保護司会と新湊保護区保護司会の統合が、皆さんのが暖かいご理解、ご協力のおかげでスマートに事が運び新組織の設立総会が実現した事。また平成十七年十一月を期しての富山県更生保護大会の開催が旧射水四町村長さんの絶大なるご支援により立派に面目を果たした事。只々有難き極みと想起している次第です。

さて、私は七回の再任を承り、延々十三名の対象者に接しました。袖

すり合うも他生の縁、罪を憎んで人を憎まず。和顔愛語をもって処遇にあたってほしいとの先輩保護司の方々からの激励を受けて使命感の高揚に微力を傾けました。実際には、オールドとヤングの間を実感し、方途に悩むことが幾度もありました。良好解除により更生の喜びを味わったこと、まさに菩薩の行願成就にも似た思いといったら言い過ぎでしょうか。

今、棚元会長のリーダーシップのもと、部会活動が活発に行われていることに敬服の念を禁じえません。人口九万五千人、三万世帯の射水市の期待に応えるべく保護司各位の更なるご活躍、ご健勝と保護司会のご発展を念じ上げます。

## 県薬物乱用防止指導員大会



◆ 事務局日誌 ◆

支援・共催団体紹介

平成十九年度受章者紹介

晴れの栄  
おめでとうござい  
ます。

一九五八年

に金山郵便局に入り呉西特定郵便局長会の理事、副会長を歴任するなど四十六年間にわたり郵便業務発展に尽力されました。

平成十五年に退職するまで局として地域住民に親しまれる窓口対応や業務を心掛け職務に携わる

○昭和五十五年五月

射水保護司会に任命を受ける

射水保護司会

御後 一夫さ

瑞宝双光章

◇ 大門ライオンズクラブ  
中学生生活体験発表大会に係る  
経費として

◇ 小杉ライオンズクラブ  
JR 小杉駅前の広告塔  
「防ごう犯罪と非行」  
助けよう立直り

◇ 新湊ライオンズクラブ  
「社会を明るくする運動」  
啓発資料購入代として

◇ 社会福祉法人富山県共同募金会  
資料購入費・資料作成費

○法務大臣表彰 岩口 和義  
○全国保護司連盟会長表彰 御後 一夫  
○中部地方更生保護委員会委員長表彰 五十嵐繁久  
○中部地方保護司連盟会長表彰 川井 實  
○中部地方更生保護女性連盟会長表彰 渡辺八重子  
米田 義幸  
林基美枝(射水)  
○富山保護観察所長感謝状 山本 修  
(内助功劳者) 棚元 静江  
○中部地方更生保護女性連盟会長表彰 石丸 誓史  
多賀 正夫  
○富山保護観察所長感謝状 鈴木 光正  
(家族功労者) 川井やす子  
(　　) 大濱 佳子  
(更生保護女性会員) 林 シメ(射水)  
堀田 紀子(射水)  
小川 馨(新湊)  
大伴せつ子(新湊)  
(民間協力者) 中田 政一  
○富山県保護司会連合会長表彰 高橋 禮子  
北林 吉之  
石村むつみ

保護司の異動

○新任保護司

(平成十九年十二月二十一日付)

池內興舟

栗原片林政敏

○退任保護司

佐野 昌里

## 一年を省みて

十九年度の重点事業とした協力雇用主との協議会開催と新BBS会の設立は、それぞれの部会の尽力より、曲がりになりにも立ち上げることができたことに喜んでいます。

当会では、懸案であった二十三社の協力雇用主と保護司会との初会合を、富山保護観察所からの説明や助言のもとに、和やかな雰囲気のもと開くことができました。今回を契機として、各社のご理解ご協力を得て、対象者の就労に配意いただければ幸いであります。

また、保護観察中の少年と一緒に社会奉仕活動に取り組む人材を育成し、少年の自立を支援していくために、「射水地区BBS会」が発足しましたことも大きな喜びであります。これらは、当会の重点事業としていただけに、本年度の大きな成果であつたと思っています。（海内記）